

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 16 日 (2014.1.16)

【公開番号】特開 2011-151786 (P2011-151786A)

【公開日】平成 23 年 8 月 4 日 (2011.8.4)

【年通号数】公開・登録公報 2011-031

【出願番号】特願 2010-264296 (P2010-264296)

【国際特許分類】

H 0 4 L 12/701 (2013.01)

【F I】

H 0 4 L 12/56 1 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 26 日 (2013.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力データに基づいてデータ処理を実施する複数のモジュールと、  
前記入力データを転送するための制御信号を出力する制御手段と、  
複数の入力ポートと、複数の出力ポートと、複数のデマルチプレクサを備え、前記複数のモジュール間でのデータ転送をする複数のルータと、  
を備え、  
前記デマルチプレクサは前記制御手段からの制御信号に対応して、前記複数の入力ポートの 1 つを前記複数の出力ポートの 1 つに関連付け、  
前記制御信号は前記データとはセパレートであり、  
前記制御手段は各ルータに共通信号として前記制御信号を出力し、  
前記制御手段は、前記制御信号として、複数の値を所定の順番で、所定のタイミングで出力する  
ことを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、データ送出に用いる前記出力ポート及び出力タイミングを決定する際に、当該データが入力された入力ポートの識別情報を利用することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 3】

前記複数のルータの各々は、前記入力ポートの識別情報及び前記制御信号の値と、前記出力ポートの識別情報及び前記出力タイミングと、の対応関係を示す対応情報を記憶する記憶手段をさらに備えることを特徴とする請求項 2 に記載のデータ処理装置。

【請求項 4】

前記制御信号として、予め設定された複数の値を順に所定のタイミングで繰り返し出力することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 5】

前記モジュールと前記ルータとの間のスループットの違いを吸収するスループット緩衝手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 6】

前記モジュールと前記ルータとの間のビット幅の違いを吸収するビット幅緩衝手段をさ

らに備えることを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、制御信号として連続する整数値を等間隔で出力することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 8】

前記ルータは制御信号からの値がある値であれば、リレーを保留することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 9】

データ処理装置の制御方法であって、  
複数のモジュールが、入力データに基づいてデータ処理を実施する工程と、  
制御手段が、前記入力データを転送するための制御信号を出力する工程と、  
複数の入力ポートと、複数の出力ポートと、複数のデマルチプレクサを備えた複数のルータが、前記複数のモジュール間でのデータ転送をする工程と、  
を有し、  
前記デマルチプレクサは、前記制御手段からの制御信号に対応して、前記複数の入力ポートの 1 つを前記複数の出力ポートの 1 つに関連付け、  
前記制御信号は、前記データとはセパレートであり、  
前記制御手段は、各ルータに共通信号として前記制御信号を出力し、  
前記制御手段は、前記制御信号として、複数の値を所定の順番で、所定のタイミングで出力する  
ことを特徴とするデータ処理装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明によるデータ処理装置は以下の構成を備える。即ち、  
入力データに基づいてデータ処理を実施する複数のモジュールと、  
前記入力データを転送するための制御信号を出力する制御手段と、  
複数の入力ポートと、複数の出力ポートと、複数のデマルチプレクサを備え、前記複数のモジュール間でのデータ転送をする複数のルータと、  
を備え、  
前記デマルチプレクサは前記制御手段からの制御信号に対応して、前記複数の入力ポートの 1 つを前記複数の出力ポートの 1 つに関連付け、  
前記制御信号は前記データとはセパレートであり、  
前記制御手段は各ルータに共通信号として前記制御信号を出力し、  
前記制御手段は、前記制御信号として、複数の値を所定の順番で、所定のタイミングで出力する。